希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100−8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災地に役立つ情報や「伝言板」への投稿をお待ちしています。被災者の今困っていることも募集します。投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

東日本大震災 サポート情報

16日現在

医療

19日の各地の休日当番医は次の通り。

〈岩手県〉

釜石地区＝釜石整形☎0193・31・1881▽気仙地区＝希望ケ丘病院☎0192・53・1019

〈宮城県〉

河北地区＝木村医院☎0225・62・3039▽矢本地区＝かしわや内科クリニック☎0225・83・2003▽気仙沼・唐桑地区＝佐々木小児科☎0226・22・6881、中原クリニック☎0226・23・1028▽石巻市＝斎藤病院☎0225・96・3251、石巻市立病院仮診療所☎0225・23・3220

商業施設

イオンスーパーセンター（盛岡市） 10日から約3カ月間、岩手県陸前高田市小友町の陸前高田オートキャンプ場モビリアの仮設店舗で、衣食住に関わる約2000品目を販売している。三陸海岸の海産品なども扱う。営業は10～18時。6月下旬からこの店を拠点に移動販売車を巡回させる。問い合わせは☎0120・605・880 1。

イトーヨーカドー石巻あけぼの店（宮城県石巻市） 11日から週2回、同店と牡鹿半島先端近くの鮎川浜を結ぶシャトルバスを運行中。水、土曜日の1日2往復。県道2号沿いに通り、ミヤコーバスの停留所付近で止まる。乗車無料。片道約50㌔で1時間半。問い合わせは同店☎0225・22・7111。

ファミリーマート（東京都豊島区） 福島県川俣町東福沢の仮設住宅地内（住民約400人）に仮設店舗を設置し、26日から営業を始める。絵本など500冊や映画などのDVD80枚の無料貸し出し、レンタカー（3台）貸し出しなど、通常店にはないサービスも。営業は7～20時。問い合わせはお客様相談室☎0120・079・188。

リサイクル品の販売会 ヤマト運輸を経営するヤマトホールディングス（東京都中央区）が17、18日、宮城県の集配センター2カ所で家財道具や電化製品のリサイクル品を販売する。グループ会社が引っ越し事業の際に引き取ってきれいにした品で、17日は石巻市蛇田、18日は亘理町中町東で、それぞれ約100点ずつ。いずれも11～15時で雨天決行。

出品は中型冷蔵庫9000円▽4・2㌔洗濯機9000円▽電子レンジ5000円など。問い合わせはヤマトホームコンビニエンス仙台リサイクルセンター☎022・348・1168。

アウトレットモール再開 震災で営業を休止していた仙台市泉区の「仙台泉プレミアム・アウトレット」が17日、同市宮城野区の「三井アウトレットパーク仙台港」が25日、営業を再開する。「仙台泉」は17～19日、各日来場先着300人に仙台ふきんや仙台玉虫塗ブックマーカーなどを日替わりでプレゼントする。26日まで営業再開セールを実施。期間中の収益の一部を、日本赤十字社を通じて義援金として寄付する。「仙台港」も営業再開セールやイベントを予定。

ハエよけグッズ急募

被災者が求める物資や人的支援情報をお知らせします。必ず事前連絡をお願いします。

■遠野まごころネット
（岩手県遠野市）☎0198・62・1001
tonomagokoro@gmail.com
http://tonomagokoro.net/

ハエよけグッズを 岩手県陸前高田市気仙町上長部地区で、巨大なハエが発生し、さらに増え続けている。在宅の被災者は「送っていただいたハエ取りシートが3日もたないうちに真っ黒に。行政にも対策をお願いしたい」と話している。ハエ取りシート▽ハエよけの食卓カバー▽殺虫剤▽虫よけスプレーを。送付先は同ネット（〒028−0541 岩手県遠野市松崎町白岩薬研淵13）。

■共同支援ネットワーク
（仙台市）
kyoudounet@gmail.com
http://www.clc-japan.com/jishin_b.html

生活用品求む
〈食品〉食用油▽ごま油▽緑黄色野菜▽根菜▽果物▽缶詰類（果物、魚、肉）▽カップラーメン▽たんぱく質（肉、卵など）▽インスタントクリーム▽真空パックの食材（レトルト食品、煮豆など）
〈生活用品〉ペーパータオル▽子ども用おむつ各サイズ▽敷布団▽枕カバー▽シーツ▽下着▽子ども服（80～140㌢）▽マタニティー服▽おしりふき（大人用）▽ボディーシャンプー▽シャンプー▽リンス▽洗濯用洗剤▽大人用、子ども用の長靴
〈家電〉電子レンジ▽空気清浄機▽除湿機▽扇風機▽地デジ対応型テレビ▽炊飯ジャー▽布団乾燥機。いずれも新品で。共同支援ネットにメールで連絡を。

■ふくふくプロジェクト
（福島市）☎024・526・4533
project@fukushima.com
http://www.f-npo.jp/

夏服・寝具セットなど求む 南相馬市原町区の体育館（避難所）で、次の物が不足している。夏服（新品）▽夏用寝具セット▽ボックスティッシュペーパー▽トイレットペーパー▽洗濯用洗剤▽シャンプー・リンス▽軍手▽ブルーシート――など。NPO「花見山を守る会」（☎024・5398・8908）の高橋さんに事前に連絡してください。

ニーズ情報

伝言板

コンタクト用精製水求めます

▼難病の息子に精製水求む 岩手県陸前高田市の菅野光子さん(37)が、難病の「脊髄(せきずい)性筋萎縮症」の長男(14)用に、コンタクトレンズ用の精製水を求めています。長男は夜間だけ人工呼吸器を付け、加湿器をつないで使っています。加湿用の水は水道水を沸騰させた湯冷ましを使っていましたが、水道が復旧しません。人工呼吸器のメーカーは「コンタクト用の精製水で代用して問題ない」と言いますが、救援物資にはなく、車で片道40分以上かけて買いに行っています。

「精製水500㍉㍑で約4日加湿でき、1本でも2本でも、送ってくださると助かります。ご支援いただける方は、希望新聞のファクス（03・3212・5177）にご連絡ください」

▼キーボード贈ります 仙台市青葉区の佐藤泰平さん(75)が、被災した小学校に電子楽器のキーボードをプレゼントします。リードオルガンを演奏する佐藤さんは、宮城県塩釜市のオペラ歌手、高橋正典さん(32)と今月、コンサートを仙台市内で開きました。ここで募った義援金などでキーボード25台を購入します。カシオのCTK−2400で49鍵盤、ピアノ、パイプオルガン、バイオリンなど100の音色が出せます。幅1㍍×奥行き20㌢で2・8㌔。電池でも動き、持ち運べます。

「住所、学校名、連絡先を書いて、自宅のファクス（022・278・7756）にご連絡ください。1校1台、先着順に無料で送ります。今後は子どもたちと音楽で交流したいです」

新鮮野菜を届けよう

採れたての野菜を手にして喜ぶ被災者＝宮城県石巻市で5月末、嶺さん提供

東京の農園情報サイト会社
農家からの提供も歓迎

体験農園や農園レストランなどの情報サイトを運営する会社「noico（ノイコ）」（東京都文京区）が、被災地に新鮮野菜を届けるプロジェクトを続けている。震災から3カ月たった今も、小規模避難所や在宅被災者には支援が行き届いていない。農家が格安で野菜を提供してくれたり、被災地に直送するなど支援の輪も広がっている。

プロジェクトは週末の活動。土曜日早朝に千葉県の直売所で野菜を購入し、ワゴン車で宮城県石巻市や南三陸町などを回る。野菜はトマトやレタスなど段ボール箱約40個分。避難所や個人宅に配ったり、即席のサラダバーを開いてふるまうこともある。「野菜は久しぶり」と涙を浮かべるお年寄りもいるという。代表の嶺竜一さん(36)は「車を失った人は買い物にも行けない。避難所で配られる食料がおにぎりやパンだけという地域もある。ビタミン不足は深刻だと思う」と話す。

野菜の購入費やガソリン代は募金やカンパでまかなう。大きさや形が不ぞろいで販売できない野菜を農家が格安で売ってくれることもある。活動を知った関東地方の農家からも「多く収穫できた野菜を提供したい」という申し出が増え、農家から避難所に直送する「産地直送便」も始めた。

嶺さんは「現地で活動する医師から、避難生活が長くなると、栄養不足などで病気になりやすくなるという話を聞いた。喜ばれるので、支援を続けていきたい」と話している。野菜をほしいというリクエストにも可能な限り応じる。農家からの提供も大歓迎。問い合わせは☎03・6692・5666。サイトはhttp://todoker u.noico.jp/

【下桐実雅子】

友だちでき、楽しい

「避難所の近くで飼われている犬と遊ぶのが楽しみ」と話す岡本ちりさん（左）、大和君、真衣さん

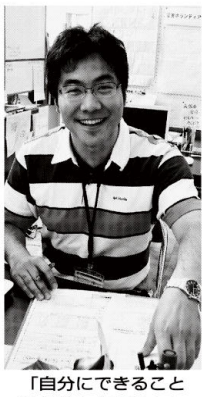
声 被災者から

山形

福島県双葉町から山形市総合スポーツセンターに避難し、いとこの岡本真衣さん(9)や岡本大和君(10)らと過ごす岡本ちりさん(9)「4月から3人とも避難所の近くの千歳小に通っています。全く知らない土地で最初は不安だったけど、今では友達もできて楽しいです。学校が終わると、避難所の近くで遊ぶのが楽しみ。6月下旬には避難所が閉鎖になるので、みんな近くのアパートに引っ越します。自分たちの部屋が持てるのはうれしいけど、バラバラになってしまうのは少し寂しいです」【前田洋平】

岩手

故郷の宮古市でボランティア活動を続ける学生、木村知樹さん(23)「大学を卒業後、大学院の合否結果を待つため帰郷していた時、大きな揺れを感じました。自宅は無事でしたが、翌日に周辺のがれきを見て『何かできることはないか』と市の災害ボランティアセンターで活動を始めました。ボランティアの内容や被災者の声を伝えるボランティアニュース刊行のスタッフをしています。8月にハワイの大学院に進みますが、直前まで活動を続けたい」【岩壁峻】



「自分にできることをやるしかない」と話す木村知樹さん

ミニニュース

■シンポジウム「震災と子どもの貧困を考える」 19日13時半～17時、東京都新宿区本塩町の司法書士会館（JR四ツ谷駅徒歩6分）。大学教員やNPO職員、行政職員らでつくる「『なくそう！子どもの貧困』全国ネットワーク」の主催。

東日本大震災で被災した子どもや若者は、学費の負担や不十分な給食に困り、地域のつながりとも断絶するなど、経済的・社会的な貧困状態につながりかねない状況にある。第1部は、被災地で活動するNPO法人などが現状を報告。第2部は佐藤学・東大大学院教授が貧困と教育・子育てについて講演。

資料代1000円。学生無料。申し込みは▽氏名▽所属▽居住都道府県名▽電話番号を明記しファクス（048・471・7305）へ。当日の問い合わせは同ネットワーク☎080・1158・3494へ。

その他

■郵便局 貯金の引き出し、転居届や紛失した通帳・カードの再発行など。17日の予定は次の通り（いずれも11～14時）。

〈岩手県〉山田町の山田南小▽大槌高

〈宮城県〉女川町総合体育館▽南三陸町総合体育館ベイサイドアリーナ。市外からの避難者も利用できる。

イベント

〈宮城県〉

第13回うめ～梅まつりinかくだ 19日9時半～15時、角田市中央広場。もぎたて梅の販売、梅もちや梅料理の試食、梅酒・梅サワー作り体験など、特産の梅を使った盛りだくさんの内容。梅干しの種飛ばしゲームも。市観光物産協会☎0224・61・1192。

〈東京都〉

「100万人のキャンドルナイト@増上寺2011」 18日15～21時、港区芝公園4の増上寺。入場無料。被災地や復興を応援する全国の生産者が食材を持ち寄って「食べて復興応援屋台」を出店。問い合わせは平日のみJ−WAVE（☎03・6832・1144）へ。

書籍・絵本

図書館再開 福島県いわき市立図書館のうち、休館していた常磐、小名浜の両図書館が20日再開する。開館時間は月～土曜10～19時、日曜10～18時。これで同市内の図書館6館がすべて開館。

周囲は混乱「理解できず」

三陸物語 Sanriku Monogatari

全盲の鍼灸師(しんきゅうし) 藤原正さん ❹

地域の避難所の寺院にある墓所で、当時の様子を振り返る藤原さん夫妻＝10日

家を出てから避難先の寺院まで約1㌔。妻美幸さん(43)の肩につかまって避難していた藤原正さん(53)は、周囲の変化を感じ取った。「子供が遊びさ行って帰ってこねえの」と言う女性の声は心配そうで、表通りを疾走していた車の音は次第にやみ、渋滞が始まったことが分かる。

十数分で寺に着き、先行した娘3人と本堂の軒先で立ち話をしていたら「瓦落ちて危ねがら、中さ入って」と促され、畳の部屋に腰を下ろした。

悲鳴が聞こえたのはその直後だ。避難した人々が窓際に集まる気配がし、「きゃー」「わー」と言葉にならない声がする。わけが分からずきょとんとしていたら、「すぐ下の小学校に津波が押し寄せ、家や車が流れてきた」というではないか。

「ここも危ねがら、上さ逃げっぞ」。男性の声に外に出ると、「ザザザザー」という音が聞こえる。津波は山門の近くまで押し寄せていた。

一家で墓所を駆け上がって息を整えていたら、三女の美代乃さん(14)が驚いたように言った。「みんな海だ」。藤原さんが首をかしげて問いかける。「うちは？」「ない」「駅の向こうだぞ」「知ってるし。みんないなくって」。そんな会話を記憶する。藤原さんには「何が起きたか、さっぱり理解できなかった」。

焦げ臭さを感じたのも同じ時だ。「火事だ」と叫ぶ声がそこここで上がる。津波で流れ出した油に火がつき、倒壊家屋に燃え広がっていたのだが、寺の下で起きていることを思い描こうとしても、頭がついていかなかった。

「上さ逃げっぞ」「道あんのか」。そんなやりとりが聞こえ、避難を始める。靴底に感じる「道なき山」。「右はがけだから、後ろから来て」という妻の声に、両肩に両手を置き恐る恐る足を踏み出した。

【萩尾信也、写真も】

◇

「三陸物語」は火～土曜日に掲載します。

■被災地へボランティアに行くには■

各地の災害ボランティアセンター（VC）が被災地で活動するボランティアを募っている。電話で問い合わせる前に各サイトで情報の確認を。また、被災地に赴く前に居住地の社会福祉協議会でボランティア活動保険に加入することが望ましい。主なVC窓口は次の通り。

＜岩手県＞

県VCや各社協が内陸部に拠点を設け、沿岸部の被災地に送迎バスを出している。

◆県VC ☎019・637・7594 サイトでは個人参加できるボランティアバスの運行状況や各VCの募集情報を公開中

◆遠野市VC「遠野まごころネット」 ☎0198・62・1001 遠野市総合福祉センター発着便で沿岸部の被災地に毎日ボランティアを派遣。登録も随時受け付け。要事前申し込み。寝袋持参で体育館宿泊可

◆宮古市VC ☎090・4478・3984 個人、団体とも1週間前までに電話連絡を

◆陸前高田市VC ☎090・2852・9736 できるだけ2人以上で参加し、3日前までに連絡

◆大槌町社協VC ☎080・3518・8490 5人以上の団体で要事前登録。個人参加は県VCの盛岡発ボランティアバスを利用する

＜宮城県＞

各VCが県外からの個人ボランティアも受け付けている。詳細は各VCのサイトで。

◆仙台市VC ☎022・231・1326 5人以上での参加は先着50人まで、要事前申し込み

◆石巻市VC ☎0225・23・6015 10人以上の団体は要事前連絡

◆気仙沼市VC ☎080・5949・7475 10人以上の団体は3日前までに事前連絡

◆名取市VC ☎022・784・3029 団体は要事前問い合わせ

◆多賀城市VC ☎080・5949・7501

◆岩沼市VC ☎080・5949・7541 8人以上の団体は要事前申し込み

◆東松島市VC ☎0225・82・9812 車中泊スペースあり。土のう袋をなるべく持参。5人以上のグループは早めに事前申し込みを

◆亘理町VC ☎080・5949・7719 団体は要事前申し込み

◆山元町VC ☎080・5949・7720 要事前申し込み

◆七ケ浜町VC ☎090・6853・4490 団体は要事前申し込み

◆南三陸町VC ☎080・2055・1066 県内外問わず団体も受け入れ中

＜福島県＞

◆県VC ☎024・522・6540

◆相馬市VC ☎0244・36・7827

◆南相馬市VC ☎0244・24・1877 公式ホームページで活動内容や注意事項の確認を

◆新地町VC ☎0244・62・5577 要電話確認。毎週木曜は活動休止日。テント泊、車中泊は禁止

◆いわき市VC ☎0246・22・5501 団体は要事前申し込み

◆電◆話◆帳◆

●行方不明者・震災関連相談ダイヤル
岩手県警 0120・801・471
宮城県警 022・221・2000
福島県警 024・522・2151（内線3024）

●医療
文部科学省健康相談ホットライン・放射線関連 0120・755・199（9～18時）
放射線医学総合研究所相談窓口 043・290・4003（9～17時）

●生活支援
日弁連電話相談0120・366・556（平日10～15時）
岩手弁護士会 0120・755・745（月～土曜13～16時）
仙台弁護士会0120・216・151（平日10～19時）
福島県弁護士会024・534・1211（平日14～16時）
あしなが育英会 被災者専用 0120・77・8565（遺児らに特別奨学一時金を支給）
チャイルドライン 0120・99・7777（月～土16～21時、18歳までの子ども向け）
震災関連の悪質商法110番 0120・214・888（10～16時）

●省庁 ※平日のみ
公営住宅等情報センター 0120・297・722（9～18時。全国の公営住宅などを紹介）
住宅の補修・再建（国交省） 0120・330・712（月～土）
行政相談（東北管区行政評価局） 0120・511・556
金融相談（東北財務局） 022・721・7078
中小企業相談（経産省） 0570・064・350
農林水産業の被害相談（農水省） 0120・355・567
年金の相談（日本年金機構） 0120・707・118※

●金融・保険 ※平日のみ
預金口座照会センター（全国銀行協会） 0120・751・557※
災害地域生保契約照会センター（生保協会） 0120・001・731※
そんがいほけん相談室（日本損保協会） 0120・107・808※
携帯・PHSからは03・3255・1306※

●移転した役所
＜岩手県＞
陸前高田市 高田町鳴石 0192・54・2111
釜石市 シープラザ釜石 0193・22・8253
大槌町 大槌小学校 0193・42・2111
＜宮城県＞
女川町 女川第二小学校 0225・54・3131
南三陸町 町総合体育館ベイサイドアリーナ南側テニスコートの仮庁舎 0226・46・2600
＜福島県＞
広野町 FDKモジュールシステムテクノロジーいわき工場 0246・43・1331
楢葉町 会津美里町本郷庁舎0242・56・2155
富岡町 郡山・ビッグパレット 0120・336・466
川内村 郡山・ビッグパレット 0120・38・2119
大熊町 会津若松市追手町第2庁舎 0242・26・3844
双葉町 旧埼玉県立騎西高校0480・73・6880
浪江町 県男女共生センター（二本松市）コールセンター 03・5638・5055
葛尾村 旧法務局会津坂下出張所 0242・83・0271

★一時立ち入り受付センター0120・208・066 警戒区域9市町村への一時立ち入りを申し込める。8～20時